

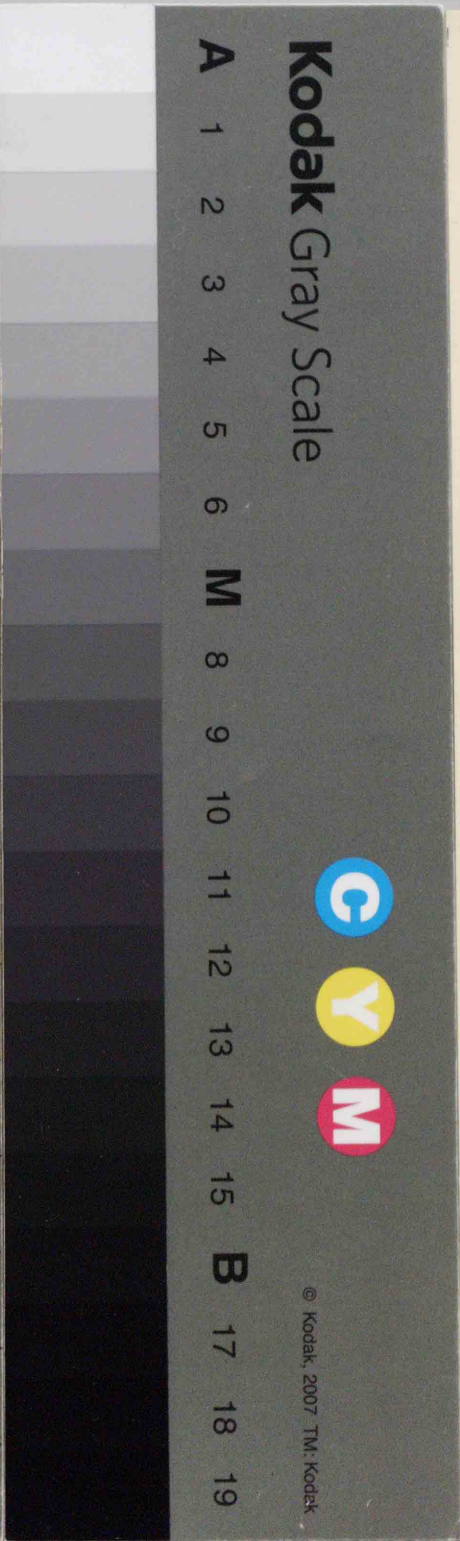
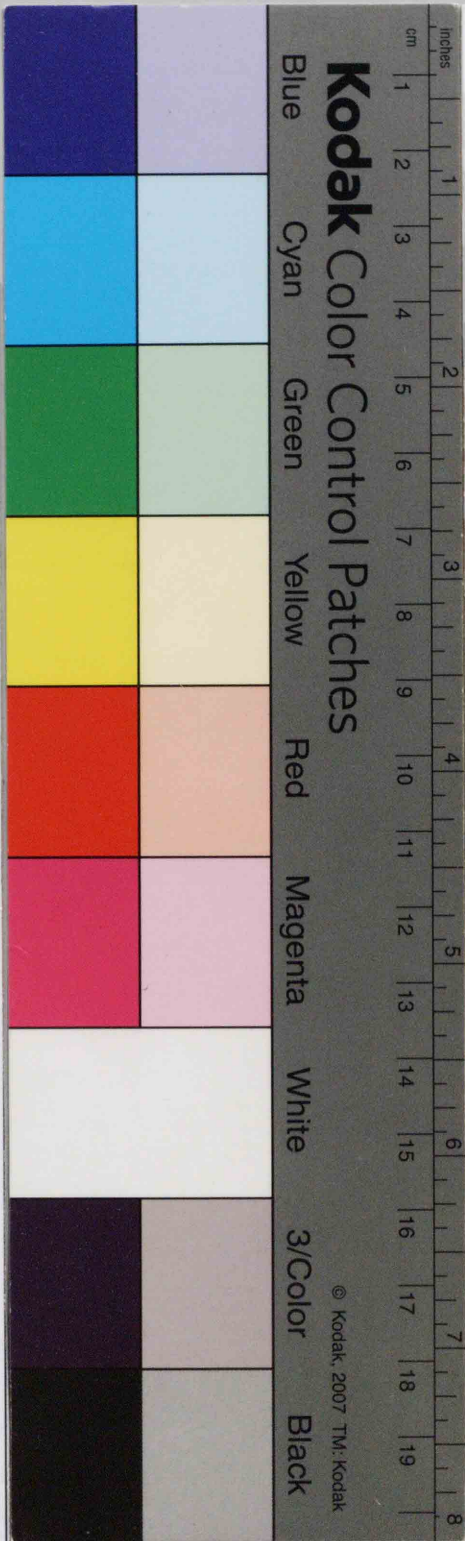
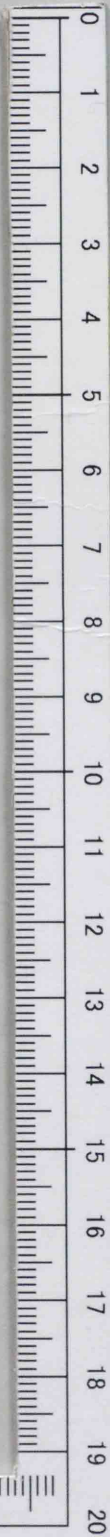
文部省検定済

教科適用



幼奉唱歌

二編中巻



40370

教科書文庫

4
760
31-1903
01304 49483



明治三十六年七月廿二日
文部省檢定
尋常小學校歌唱教科用童

中央圖書館

教科
適中
幼
童
唱
歌

納所辨次郎
田村虎藏
共編

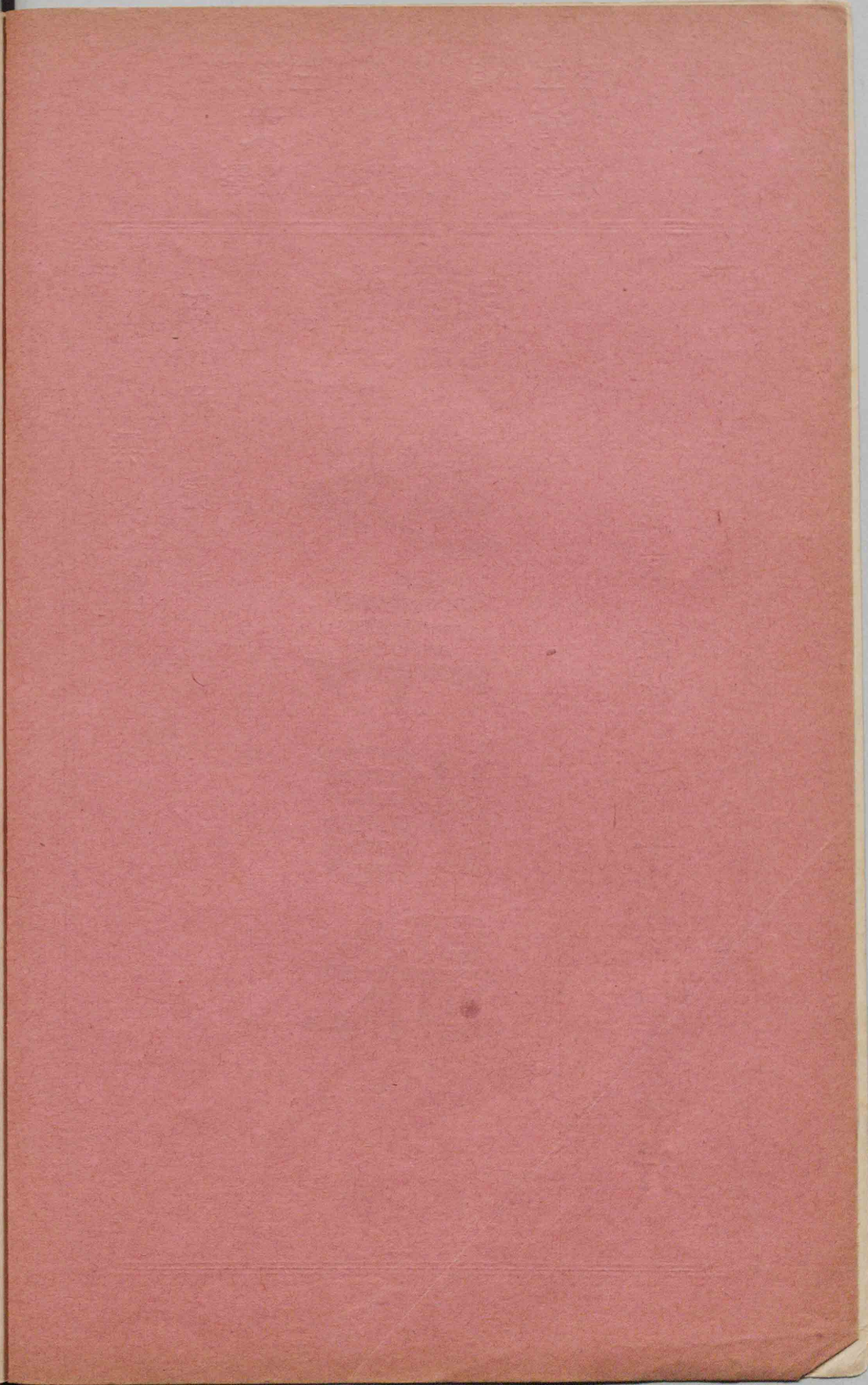
東京銀座
十字屋發行

貳編
中卷

広島大学図書

0130449483





緒言

本書は、現今小學校の唱歌教授に於ける一般の弊習を救済し、教育的教授に適切なる教材を供給せんが爲に編纂せるものなり。而して其教材は、尋常第一學年より高等第四學年に至る迄、各學年各學期に配當したれば、順次編を逐ひて教科用に充て得べきものごとす。編纂の要旨、下の如し。

一、題目、尋常科には、専ら修身、讀書科に關係を有する事項、及び四季の風物に因みて之を取り、高等科には、更に地理、歴史、理科等の教科に關係を有する事項を加へ、以て各教科の統一を完からしめんことに力めたり。

一、歌詞、多年小學教育に經驗を有する識者の手に成りて、兒

童の心情に訴へ、程度を察し、平易にして理解し易く、而も詩的興味を失はざるものより、漸く進みては、古今名家の作に及ぼし、以て國民感情の養成に資せんとせり。

一、曲節、多年編者研究の結果に出で、能く其音程、音域の如何を審査し、兒童が心身發達の程度を精察し、初は快活にして流暢なるものより、漸く優雅にして諄美なるものに進め、以て審美的感情を育成せんことを期せり。

以上の外、詳細の用意、及び音樂上併に教授上の注意に至りては、每卷これを記述せり。

明治三十四年八月三日

編者識す

教科用幼年唱歌 二編 中卷

凡例

- 一、本編は、尋常小學第二學年第二學期間に、教授すべき材料を配當せるものなり。而して歌曲の數八個は、毎週二時間宛教授するものとしての最多限なり。故に教授時間の事情により、これが取捨撰擇は教師の任意たるべし。
- 一、本編の歌詞は、一般兒童にもよく了解せしめんが爲め、此學年讀書科の程度に鑑みて之を記載し、出來得べき丈け大字を用ひたり。曲節は凡て兒童の唱歌し得べき音域内に記譜したるが故に、記譜の各調子にて直ちに教授するを得べし。
- 一、本編歌曲の強弱は、片假名の畧號及び他の諸記號にて之を表はせり。即ち「*f*」は弱く、「*p*」は弱く、「*sf*」は強く、「*mf*」は中等に、「*ff*」はこれより稍や強く、「*pp*」は次第に強く、「*ppp*」は次第に弱く、其數部分を諳ふべきことなり。強弱は、唱歌上最も大切なれば、注意せん事を要す。

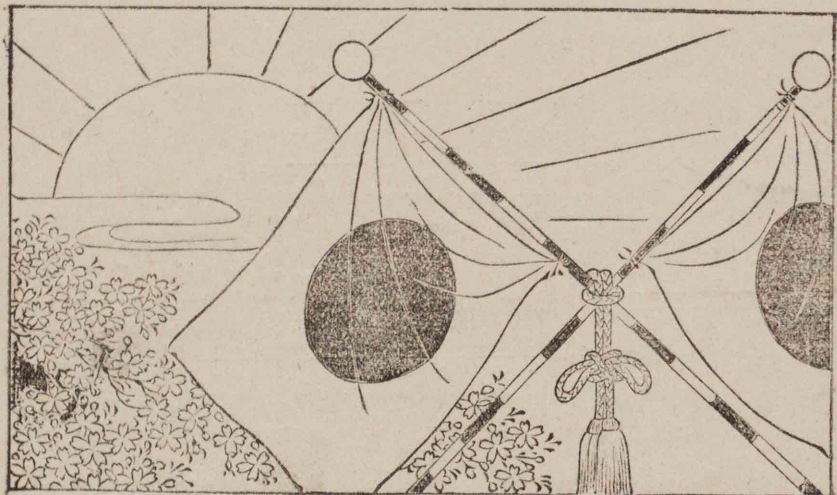
教授上一般の注意

- 一、此學期にも、先づ氣息呼吸法を行ふべし。其方法は初編下卷に同じ。之れ唱歌するに先ちて肺臟の運動を自在ならしむるものなれば、室内の空氣清淨なる日には、必ず之を行はん事を要す。呼吸法は、外國に於て専ら之を行ふものなるが、予は多年實驗に徴して、其効果の尠少なからざるを認めたるものなり。
- 二、次に發音の練習に移る。其方法第一學年に準じ、専ら五個の母音を種々に配合し、之を長音階の各階段に附して練習するなり。但し此際「7」及び「4」の二音は、之を省くも可とす。音聲の使用 法及び、口授法によりて教授する順序方法は、初編中卷に同じ。而して呼吸法及び發音練習の二個練習は、教授時間の四分の一を超過せざる様注意すべし。
- 三、此他時々口形練習をも交へて、五母音の發音を正確ならしむべし。且つ兒童唱歌教授上、繪畫を使用せんは、意外の興味を添ふるものなれば、教授者は該編中に挿入したる圖案を參考して、豫め一定の畫面を用意し教授の際常に之を使用せんことを望む。
- 四、兒童の心情は、絶えず活動し且つ快活なり。故に歌曲の速度は概して急速なるを可とす。而して本編収むる所の八曲は、何れも他教科との連絡を保てり。即ち「神武天皇」「日本武尊」は、此學年に適したる修身訓話、「蜜蜂」「牛と馬」「稻」等は理科に、其他は悉く讀書科の教材に關係あるものなれば、教授者相當の問答講話をなしたる後、教授せん事を要す。

教科適用 幼年唱歌 二編中卷

目次

日	の	丸	作曲者	納所辨次郎	七
神武	天皇	作曲者	田村虎藏	九	
虎	作曲者	納所辨次郎	十一		
蜜	蜂	作曲者	田村虎藏	十三	
海	作曲者	未	詳	十五	
稻	作曲者	田村虎藏	十七		
日本	武尊	作曲者	納所辨次郎	十九	
牛	と	馬	作曲者	吉田信太	廿一



日の丸

作歌 石原和三郎

一、年のはじめを、家々で、
 おまつりのひや、いはひ日にぞ。
 あさ日をうつつした、日の丸よ、
 あさ日をうつつした、日の丸は、
 二、あさ日をうつつした、日本のはたじるし。
 わが日本の、日本のかかやかせ。
 あさ日をかぎす、かがやかせ。
 ひかりをせかいに、てらすなり。
 あさ日はせかいを、てらすなり。
 あさ日はせかいを、

日の丸

(~ 調二拍子)

爽快 =

作曲 納所辨次郎

チ 2/4

1. トーシノハジメチイヘイヘテ
 2. アサヒチウツシタヒノマルハ

チ

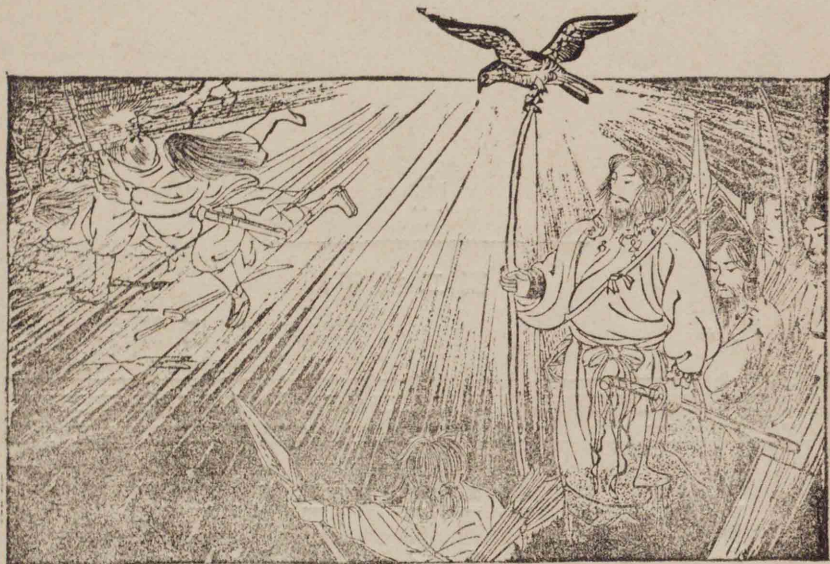
3. カカゲテイハフハナニヤ
 アガニツボーンノハタツルシ

チ

1. オマツリノヒヤーイハヒビニ
 アサヒチウツシタヒノマルヨ
 2. アサヒチカザスーニツボンノ
 アサヒハセカイチテラスナリ

チ

1. イツデモタテルハナニヤ
 アサヒチウツシタヒノマルヨ
 2. ヒカチセカイチテラスナリ



じんむてんのー

じんむてんのー

作歌 石原和三郎

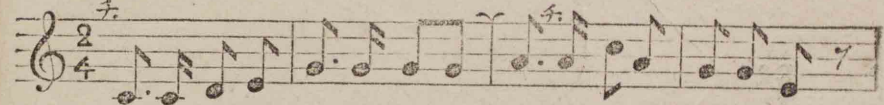
一、せにおはれたる、あまつ日のかけ、
 ゆはずにとまりし、こんじきのとび、
 けだかいかな、おほみすがたの、
 いさましいかな、おほみいくさの、
 二、くにのもとねを、さだめられたる、
 やまとのうねびの、かしはらのみや、
 みとはうごかじ、天地と共に、
 いさをばかやく、月日と共に。

神武天皇

(ハ調二拍子)

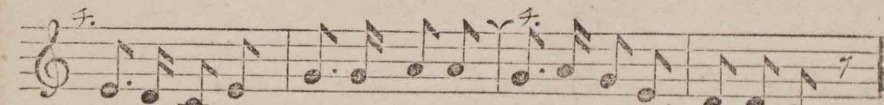
快活 =

作曲 田村虎藏



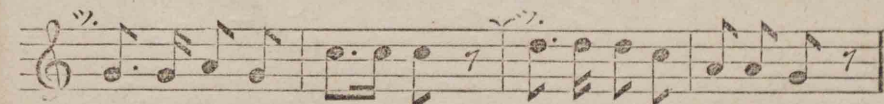
1. 1. 1 2 3 | 5. 5 5 5 | 6. 6 i 6 | 5 5 3 0

1. セニオハルタルーアマツヒノカゲ
 2. ターニノモトキテサダメラレタル



3. 2 1 3 | 5. 5 6 6 | 5. 6 5 3 | 2 2 1 0

ニハズニトマリシコンジキノトビ
 サマトノリネビノカシハラノミヤ



5. 5 6 5 | i. i i 0 | 2. 2 2 i | 6 6 5 0

ケダカイカーナオホミスガタノ
 ミヨハウヨカシテンチトトモニ



5. 5 6 5 | i. i 6 6 | 5. 6 5 3 | 2 2 1 0

イサマシイカナーオホミイリサノ
 イテテハカガヤクツキヒトトモニ



とら

作歌 石原和三郎

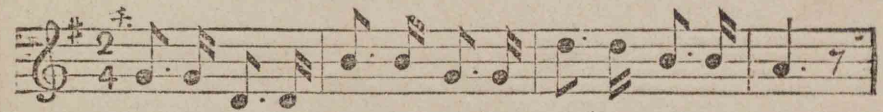
一、おほきいけものは、あのだぞーよ、
 はげしいけものは、あのだぞーよ、
 おほきいばかりが、えらかるか、
 はげしいばかりが、えらかるか、
 二、おほきいばかりが、えらからず、
 はげしいばかりが、えらからず、
 しんでもかはを、のちのよに、
 のこすはとらよ、あのとらよ。

虎

(ト調二拍子)

勇壯 =

作曲 納所辨次郎



1. 1. 1. 5. 5. | 3. 3. 1. 1. | 5. 5. 3. 3. | 2. 0. |

1. ガホキイケモノハアノソーヨ

2. ガホキイバカリガエラカラメ



3. 3. 5. 5. | 1. 1. 3. 3. | 2. 2. 3. 2. | 1. 0. |

ハゲシイケモノハアノシシヨ

ハゲシイバカリガエラカラメ



5. 5. 3. 3. | 1. 1. 6. 6. | 5. 5. 1. 2. | 3. 0. |

ガホキイバカリガエラカロカ

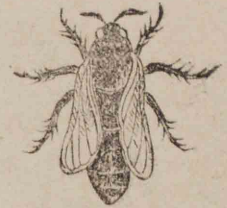
シンデモカハチーアチノヨニ



3. 3. 5. 5. | 1. 1. 3. 3. | 2. 2. 3. 2. | 1. 0. |

ハゲシイバカリガエラカロカ

ノコスハトラヨアノトラヨ



蜜 蜂

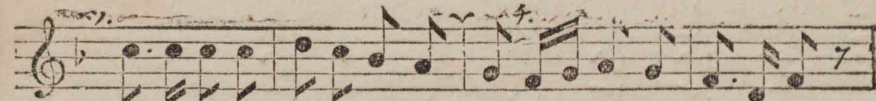
(~ 調二拍子)

作曲 田村虎藏

優美 (稍早)



1.	6	1	2	3.	2	1	2	3	4	3	2	1	2.	2	5	0
イ	ガ	シ	ノ	ヤ	マ	ギ	ハ	ホ	ノ	ー	ボ	ノ	シ	ラ	ミ	
ハ	ツ	ク	リ	エ	ハ	コ	ビ	ソ	ゴ	ー	ト	ナ	ワ	ケ	テ	
イ	ク	セ	ン	マ	ン	ビ	キ	チ	カ	ー	ラ	チ	ア	ハ	セ	
ス	ゴ	モ	リ	ク	ラ	サ	ン	ト	キ	ー	ニ	ハ	ア	ラ	ズ	
ミ	ソ	ラ	ニ	マ	ハ	テ	ハ	コ	ブ	ー	エ	ニ	ト	マ	リ	
ア	ガ	ミ	ノ	ラ	ヘ	ニ	ハ	コ	コ	ー	ロ	モ	ト	メ	ズ	



5.	5	5	5	6	5	4	3	2	1	2	3	2	1.	6	1	0
ヨ	ハ	イ	マ	ア	ケ	タ	リ	ミ	ナ	ー	オ	キ	イ	デ	ヨ	
ハ	子	チ	モ	ヤ	ス	メ	ズ	コ	コ	ー	ロ	チ	ク	ダ	ク	
ハ	ト	リ	ノ	オ	ー	ナ	バ	ダ	イ	ー	ツ	ニ	マ	モ	ル	
ハ	ナ	ノ	ニ	ミ	チ	タ	リ	ミ	ナ	ー	ト	ビ	イ	デ	ヨ	
ノ	ハ	ラ	ノ	ト	ビ	テ	ハ	ハ	ズ	ー	エ	ナ	リ	タ	ル	
ロ	ト	リ	ノ	キ	ミ	チ	バ	ダ	イ	ー	ジ	ニ	マ	モ	ル	



5.	5	1	2	3.	2	1	2	5.	3	5.	3	2.	2	1	0
ハ	子	ナ	バ	フ	ル	ロ	マ	テ	ブ	ン	ブ	ン	ブ	ン	ブ
ア	サ	ヨ	リ	ク	レ	マ	バ	デ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン
ハ	チ	ヨ	ー	ミ	ツ	バ	チ	チ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン
ヒ	ガ	シ	ニ	ニ	シ	ニ	ー	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン
ハ	ナ	ヨ	リ	ハ	ナ	ニ	チ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン

みつばち

作歌 田邊友三郎

だ い ー

だ い ー



東の山ぎは、ほのくしらみ、
 よはいまあけたり、みなおきいでよ、
 はねをはふるひて、ブン〜ブン〜。
 すつくりゑはこび、しごとをわけて、
 はねをもやすめず、こゝろをくだく、
 あさよりくれまで、ブン〜ブン〜。
 いく千万びさ、ちからをあはせ、
 ひとりの王をは、だいにまもる、
 はちよ、みつはち、
 アン〜ブン〜!

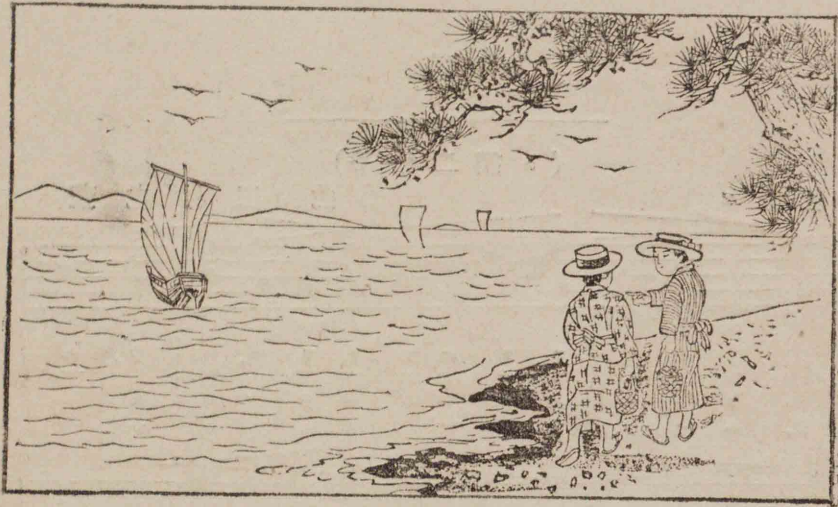
みつばち

すこもりくらさん、ときにはあらず、
 花野にみちたり、みなとび出でよ、
 東に西に、ブン〜ブン〜。
 みそらにまひては、こずゑにとまり、
 のはらにとびては、はずゑをわたる、
 花より花に、ブン〜ブン〜。
 わがみの上には、こゝろもとめず、
 ひとりのきみをは、だいにまもる、
 はちよ、みつはち、
 アン〜ブン〜。



十三

十二



うみ

一、あれくをきべに、しらはが見える、
 足もとへ、
 をなみに、めなみ、
 ぴちやくよせる、
 あれくしらはは、
 もう見えぬ、
 二、あれくなみまに、
 かもめがうかぶ、
 かもめを見ておりや、
 みちかく、
 いそべの松が、
 オルガンならず、
 あれくかもめは、
 もう見えぬ、

作歌 石原和三郎

海

(ニ調二拍子)

稍早ク 作曲者未詳

チ.

1. アレアレ チキベニシラホガミエル
 2. アレアレ ナミマニカモメガワカア

シ.ヨ.

シラホタミナ井リヤアシモトへ
 カモメナミチ井リヤミミチカク

ソ.ツ.

チナミニメナミピチピヤヨセル
 イソベノマツガナルガンナラス

シ.ヨ.

アレアレ シラホハモウミエヌ
 アレアレ カモメハモウミエヌ



い
ね

一、人の花見に、いそぐころ、
 なはしろ小田に、たねまきし、
 いいざねは、うのゑびんね、
 さみだれつよく、ふるとても、
 わがみはいたく、ぬるとても、
 二、花のさかりに、うたねまきて、
 さみだれふるに、うゑつけし、
 いいざねは、かたられんね、
 いねかりうたを、いはたひつゝ、
 たのしきけふを、ま

作歌 田邊友三郎

い
ね

稻

(ト調 二拍子)

輕快 =

作曲 田村虎藏

mf

5 5 5 | 1. 1 6 5 | 1 1 2. 3 | 2. 0

1. ヒ ト ノ ハ ナ ミ ニ イ ヲ グ コ ロ
 2. ハ ナ ノ サ カ ヲ ニ タ ネ マ キ テ

6. 6 6 6 | 1. 1 5 | 3 3 2. 2 | 1. 0

ナ ハ シ ロ ナ ダ ニ タ ネ マ キ シ
 サ ミ ダ レ フ ル ニ サ ニ ツ ケ シ

f

5 5 5 0 | 3 3 3 0 | 2 2 2 0 | 1. 2 3 0

イ ネ ハ ノ ビ ヌ イ ザ ヤ ウ エン
 イ ナ ホ タ レ ヌ イ ザ ヤ カ ラン

mf

6. 6 6 6 | 1. 1 5 | 1 1 2. 3 | 2. 0

サ ミ ダ レ ツ ヨ グ フ ル ト テ モ
 イ ネ カ ヲ ウ ダ チ サ タ ヒ ツ ヲ

5. 5 5 3 | 2. 1 6 | 3 3 2. 2 | 1. 0

ラ ガ ミ ハ イ タ ク ヌ ル ト テ モ
 タ ノ シ キ ケ フ チ イ ハ ヒ ツ ヲ

日本武尊

(ハ調二拍子)

活潑 = [軍歌体]

作曲 納所辨次郎

1.	ム	カ	シ	ー	チ	ウ	ス	ノ	オ	ー	シ	ト	テ
2.	オ	ー	シ	ー	オ	ン	ト	シ	オ	シ	ー	ロ	ク
3.	メ	ク	テ	モ	ミ	セ	メ	ー	ク	イ	ケ	ン	ニ
4.	マ	タ	モ	ー	ト	ー	井	チ	ウ	タ	ン	ト	テ

1.	カ	シ	コ	キ	ミ	コ	ソ	ー	オ	ハ	シ	ケ	ル
2.	カ	シ	コ	キ	ミ	コ	ソ	ー	オ	ハ	シ	ケ	ル
3.	カ	シ	コ	キ	ミ	コ	ソ	ー	オ	ハ	シ	ケ	ル
4.	カ	シ	コ	キ	ミ	コ	ソ	ー	オ	ハ	シ	ケ	ル

1.	オ	ン	チ	エ	フ	カ	キ	ー	ソ	ノ	ウ	ヘ	ニ
2.	オ	ン	チ	エ	フ	カ	キ	ー	ソ	ノ	ウ	ヘ	ニ
3.	オ	ン	チ	エ	フ	カ	キ	ー	ソ	ノ	ウ	ヘ	ニ
4.	オ	ン	チ	エ	フ	カ	キ	ー	ソ	ノ	ウ	ヘ	ニ

1.	オ	ン	チ	エ	フ	カ	キ	ー	ソ	ノ	ウ	ヘ	ニ
2.	オ	ン	チ	エ	フ	カ	キ	ー	ソ	ノ	ウ	ヘ	ニ
3.	オ	ン	チ	エ	フ	カ	キ	ー	ソ	ノ	ウ	ヘ	ニ
4.	オ	ン	チ	エ	フ	カ	キ	ー	ソ	ノ	ウ	ヘ	ニ

やまとたけるのみこと

作歌 田邊友三郎

一、むかしをうすの、おーじとて、
 かしこきみこぞ、おほしける、
 おんちあふかき、その上に、
 おんちからさへ、なみならず。
 二、おーじおん年、十六の、
 をりにくまその、そむきしを、
 みかどのおほせ、かうむりて、
 たひらげんとて、出でたまふ。
 三、ぬく手も見せぬ、くわいけんに、
 くまそたけるを、うちとりて、
 やまとたけるの、みこといふ、
 おん名をえさせ、たまひけり。

やまとたけるのみこと

四、またも東夷を、うたんとて、
 するがのくに、ゆきたまひ、
 ぞくのはかりし、やきうちら、
 かへりてぞくを、やいづばら。
 五、草なぎはらひし、草なぎの、
 つるぎのひかり、かゞやきて、
 とほき東の、えびすらも、
 ほどなくおそれ、なひきたり。
 六、みこのちからに、西、東、
 みなしづまりて、そのときの、
 みかどのとくに、なつきたる、
 みいさをあふげ、人々よ。

十九

十八

牛と馬



牛と馬

作歌 田邊友三郎

一、いたゞくつのは、
 こゝろはすなほ、
 つよきちから、
 おもきくるま、
 おそきあゆみも、
 つひには行かん、
 二、いなゝくこゑは、
 大地をけつて、
 雲をおこす、
 風にのるか、
 アレヨといふまに、
 かけゆくうまは、

すがたによらず、
 きはおちつきて、
 しごとをたすけ、
 かるげにひく、
 たゆまぬ牛は、
 千里の道も、
 あたりをばらひ、
 かけたすときは、
 ひづめのもと、
 ちゆーをとぶ、
 すがたも見えず、
 いさまし、はやし。

牛と馬

(二拍子調)

爽快 = 作曲 吉田信太

♩ 稍早ク.

mf

5.	1	1	1	3.	2	1	5.	6	5	3	1	2	3
イ	ダ	ダ	ク	ツ	ノ	ノ	ス	ガ	タ	ニ	ヨ	ラ	ズ
イ	ソ	キ	ア	ユ	ミ	モ	タ	ユ	マ	ヌ	ウ	シ	ハ
ア	レ	ヨ	ト	イ	フ	マ	ス	ガ	タ	モ	ハ	シ	エ

mf

5.	5	5	3	2.	2	1	2.	1	2	3	5.	5	1
コ	コ	ロ	ハ	ス	ナ	ホ	キ	ハ	オ	チ	ツ	キ	テ
ツ	ヒ	ニ	ハ	ユ	カ	ン	セ	ン	リ	ノ	ミ	チ	モ
カ	イ	チ	チ	ウ	ツ	テ	カ	ケ	ダ	ス	ト	キ	ハ

稍オソク.

mf

5	5.	5	6.	6	6	5.	3	2	1	2.	2	2
ツ	ヨ	キ	チ	カ	ラ	シ	ゴ	ト	チ	タ	ス	ケ
ク	モ	チ	オ	コ	ス	ヒ	ツ	メ	ノ	モ	ー	ト

mf

3	3.	3	1.	1	1	2	2	2.	2	5.	5	5
オ	モ	キ	ク	ル	マ	カ	ロ	ゲ	ニ	ヒ	ー	ク
カ	セ	ニ	ノ	ル	カ	チ	ー	ー	チ	ト	ー	ア

明明明
 治治治
 四三三
 十十六五
 一六年四
 年年年
 七七八八
 月月月月
 二十十五
 日日日日
 四三再發
 版版版
 發行發行
 行行行



(ズサ許ヲ寫謄及譜譯)

編者

同

發行者

發行所

印刷者

印刷所

正價金拾錢

東京市麹町區下六番町二十二番地

納所辨次郎

同市牛込區白銀町三十五番地

田村虎藏

同市京橋區銀座三丁目二番地

倉田繁太郎

同市京橋區銀座三丁目二番地

十字屋

同市京橋區木挽町九丁目六番地

青山藤四郎

同市京橋區木挽町九丁目六番地

青山活版所

1907.7.17

部
一
五
號

(東京本挽町二 原田寫真銅版印刷所印行)

広島大学図書

0130449483

